



平成30年2月27日
内閣府沖縄担当部局

平成29年度北部振興事業の実施について（第5回）

1. 事業の概要

沖縄県及び北部市町村の要望に基づき、定住条件の整備、産業の振興に資する事業を実施。

2. 今回配分の状況（国費ベース）

非 公 共 事 業
継 続 2 事 業
新 規 1 事 業
今 回 配 分 額 6.0 億 円

（参考）前回の配分(12月18日)までと
合算した配分額合計

◇非公共事業 21.2億円

◇公共事業 21.1億円

※詳細は別添資料のとおり

（参 考）

<予算計上>

○沖縄北部連携促進特別振興事業費（非公共事業）

平成29年度予算額25.7億円

・補助率：8／10

<今回の配分の考え方>

○沖縄県の均衡ある発展を図る観点から北部地域の振興に資する事業に対し配分する。

○配分対象の事業は、北部12市町村から北部地域の振興に資するものとして要望されたもの。

* 問合せ先 *

政策統括官(沖縄政策担当)付

(担当 藏本、大田)

電話 03-6257-1693

FAX 03-3581-9761

平成29年度に実施する振興事業について

平成30年2月27日

【非公共事業】

テーマ：産業の振興

〔継続〕

事業名 (事業主体)	計画期間	29年度事業費 (うち国費)
金融・IT産業等集積基盤整備事業 (みらい5号館) (名護市)	平成26年度 ～ 平成29年度	355百万円 (284百万円)
<p>名護市はこれまで、金融・情報通信関連企業の入居施設であるマルチメディア館、みらい1～4号館の整備などの企業誘致施策を推進し、北部地域の雇用創出に効果を上げている。また、平成26年4月に経済金融活性化特別地区に指定され、更なる企業進出が見込まれるが、オフィスの不足により企業集積に支障をきたしており、雇用機会の損失を招いているため、企業集積を図る施設整備により、北部地域の雇用拡大と産業の振興を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

〔継続〕

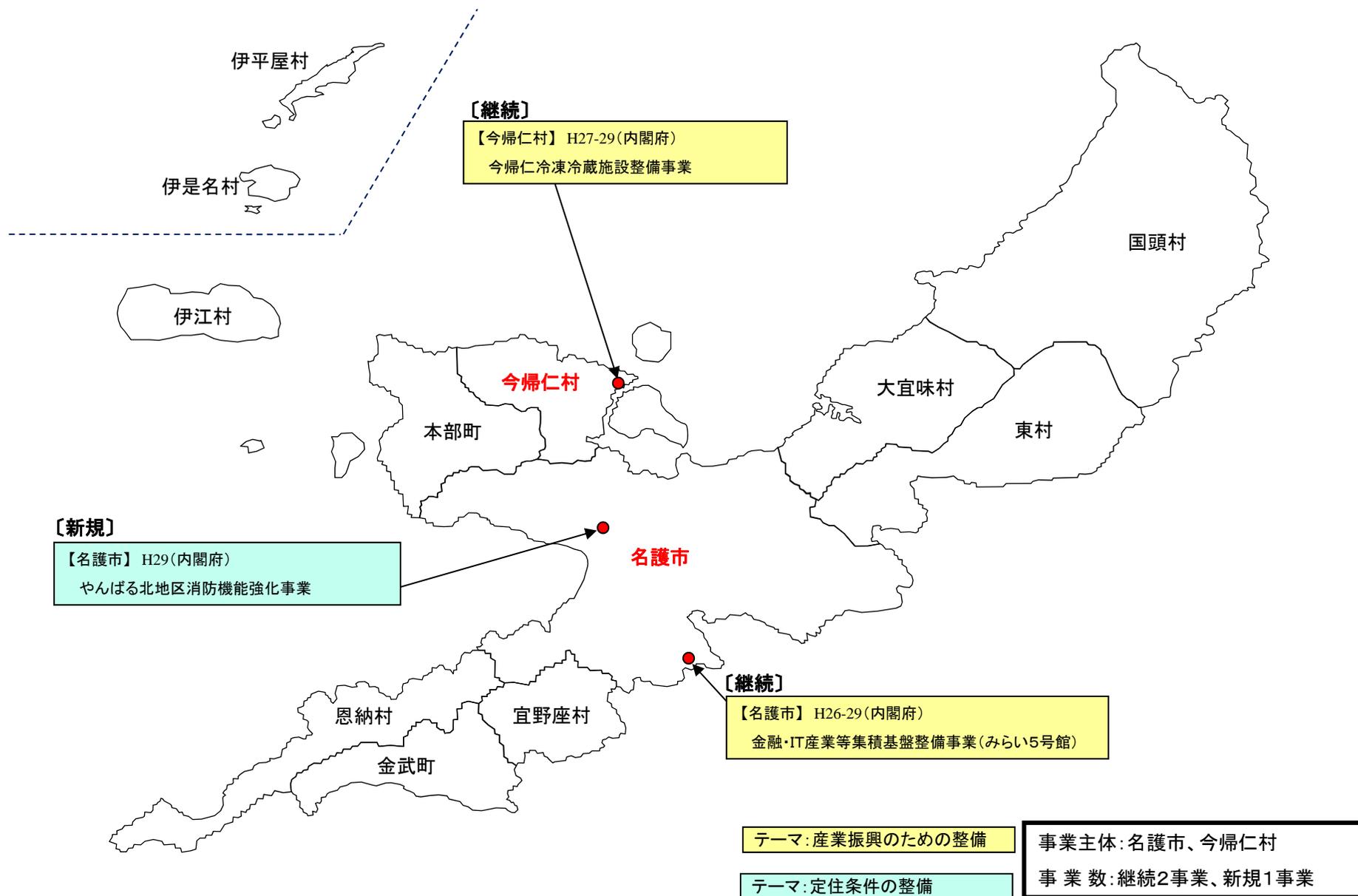
事業名 (事業主体)	計画期間	29年度事業費 (うち国費)
今帰仁冷凍冷蔵施設整備事業 (今帰仁村)	平成27年度 ～ 平成29年度	154百万円 (124百万円)
<p>農業や漁業が盛んな北部地域の農水産物等は、観光客を始め県内外からのニーズが高くなってきており、これら製品の鮮度を保ちながら安定的に供給するには、冷凍冷蔵設備を有する保管施設が必要となっているため、離島と本島を結ぶ北部海運の要衝にある運天港において、冷凍冷蔵施設を整備することにより、地域が連携した効率的な物流体系を構築して農水産業の振興を図る。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

テーマ：定住条件の整備

〔新規〕

事業名 (事業主体)	計画期間	29年度事業費 (うち国費)
やんばる北地区消防機能強化事業 (名護市)	平成29年度	240百万円 (192百万円)
<p>やんばる北地区の3市町村(名護市、本部町、今帰仁村)の消防体制・地域防災力の強化連携に努めている名護市消防本部の消防車両を機能高度化することにより、海洋博公園や世界遺産の今帰仁城跡、海水浴場等の多くの観光資源があり、クルーズ船の寄港に伴い観光客の増加が見込まれ、リゾート関連の中高層施設の充実が図られてきている本地域において、中高層施設火災での延焼拡大防止や消火活動に困難が伴う地域の消火活動が可能になり、観光客を含め、地域の安全・安心を確保することにより定住条件の整備に資する。</p> <p>(担当省庁) 内閣府</p>		

平成29年度 北部振興事業(非公共)(5次配分)配分事業箇所位置図



【継続】

【今帰仁村】 H27-29(内閣府)
今帰仁冷凍冷蔵施設整備事業

【新規】

【名護市】 H29(内閣府)
やんばる北地区消防機能強化事業

【継続】

【名護市】 H26-29(内閣府)
金融・IT産業等集積基盤整備事業(みらい5号館)

テーマ:産業振興のための整備

テーマ:定住条件の整備

事業主体:名護市、今帰仁村
事業数:継続2事業、新規1事業